



ふれあい



この広報誌『ふれあい』は皆さまから頂いた社協会費及び青森県共同募金会からの配分金で作成しております。

見守りネットワーク研修会を開催しました



▲写真上。虎谷氏の報告。ほのぼの交流協力員3～4名でグループを作り、月1回1人暮らし高齢者宅を訪問しています。

▼写真下。小野氏の報告。町内会や社協の協力のもと8名のスタッフで活動しています。毎月約40名の高齢者が集会所へ集い、工作や体操、歌の合唱などを楽しみながら交流しています。



平成27年3月6日（金）に、五所川原市の立佞武多の館会議室において『平成26年度見守りネットワーク研修会』を開催し、鯿ヶ沢町のほのぼの交流協力員46名が参加しました。

この研修会は、鯿ヶ沢町からの受託事業『ほのぼのコミュニティ21推進事業』の一環として開催し、他の地域の見守り活動の実施方法や現状などを学ぶことで現活動を振り返り、よりよい活動につなげていくことを目的としたものです。

当日は五所川原市の取り組みの中から、五所川原市栄地区社会福祉協議会副会長 虎谷弘三氏より「ほのぼの交流事業の取り組みについて」、ザ・田町栄町元気教室代表 小野登志子氏からは「ふれあいサロンを通じた見守りについて」それぞれ活動報告していただきました。

活動報告後は、参加者から「訪問する際の工夫について」や「閉じこもりがちな高齢者を集う場に引き込む方法」など質問が次々飛び交い、地域の見守りに対する関心の高さがうかがえました。最後に虎谷氏から「誰もが地域で安心した暮らしができるように、現状の活動に満足することなく、一歩前へ進んで行動していくことが大事」とお話があり、見守り活動する側の立場として得た気づきから、新たな取り組みを考え実行することが今後の地域福祉活動に求められていると研修を結び、参加者にとって学びの多い大変充実した研修会となりました。

見守りネットワーク連絡会を開催しました

- ・今、町内で困っていることはありますか？
- ・10年先を考えて、こんな町内であつたらいいなと思うことは？

鱈ヶ沢町からの受託事業『ほのぼのコミュニティ21推進事業』の一環として、日頃、お年寄りなどに対して見守り（訪問）活動をおこなっている、ほのぼの交流協力員が集い、地域で困っていることやあつた出来事などを話し合い情報交換し『誰もが暮らしやすい地域になるために、何が必要で私たち一人ひとりは何なことができるか』を気づき考える機会としておこなうものです。

それでは、今年度話題となつた内容の一部を各地区ごとにご紹介します。



★鱈ヶ沢地区★

と き 平成27年2月6日（金）
参加者 ほのぼの交流協力員20名



《困っていること》

- ・近所に商店がないので、買い物に困っている。（町内のお年寄りは自転車や徒歩で買い物に出かける人が多い。バスも本数が限られているので、買い物するための交通手段がほしい。）
- ・ひとり暮らしのお年寄りの家を訪問したいが、「誰の世話にもならない」と訪問を拒む方がいる。（※この方には、電気がついていないかなど、外からわかる範囲の見守りを現在おこなっている。）

《こんな町内になってほしい》

- ・10年先は、空き家が多くなっていると思う。人口も少なくなり老人世帯も多くなる。商店もなくて困っていると思う。など、町が衰退していくのではないかと不安が声として上がりました。その中で買い物・通院の交通手段で困らない町になってほしいと声がありました。



★舞戸地区★

と き 平成27年2月6日（金）
参加者 ほのぼの交流協力員16名



《困っていること》

- ・足腰が不自由だとゴミ出しが大変。玄関先に目印すれば、集積所までいかななくても自宅に取りに行く仕組みにできないだろうか。
- ・普段から気軽にあいさつをかわすことも少なく、近所付き合いが希薄になったと感じている。

《こんな町内になってほしい》

- ・空き家を改修して高齢者用の集合住宅をつくったり、ちょっとした世間話やトランプなどで楽しめる「集いの場」が各町内にあつてほしい。



★赤石地区★

と き 平成27年2月10日（火）
参加者 ほのぼの交流協力員20名



《困っていること》

- ・ひとり暮らしの高齢者の家を訪問すると、居留守する方がいる。普段の様子もわからないのでどのように見守ればよいか悩むことがある。

（※悩んだときは、社会福祉協議会などの公的機関へまずは相談することを確認しあつた。）

《こんな町内になってほしい》

- ・10年先は、空き家やお年寄りが多い町内になっていると思うが、ほのぼの交流協力員みんなが元気でボランティア活動を続けていけたらと思う。

★南金沢地区★

〈困っていること〉

・地域的に冬場は除雪に困っている。自分たちの除雪で精いっぱいでお年寄り世帯へ協力できないときもある。業者へ依頼する方もいるが、降雪状況によっては除雪してもすぐにまた頼まなければいけない方もいる。

・お年寄りの買い物について困っている。バスの本数が少ないので自家用車に乗せてスーパーに連れて行きたいが事故を考えるとためらってしまう。

〈こんな町内になってほしい〉

・二世帯三世帯で同居する家が多くなってほしい。老人クラブなどを活性化してほしい。



★鳴沢地区★

〈困っていること〉

・雪対策について困っている。協力するボランティアも高齢なので、自分の家の除雪で精いっぱいなこともある。除雪を協力しても、雪を投げる場所がなくて困ったことがある。

〈こんな町内になってほしい〉

・困りごとにすぐ対応できるようなしくみや設備が整った町内になってほしい。

・町内会の集会所単位で気軽に集まって、会話など楽しめる場があってほしい。



★中村地区★

〈困っていること〉

・交通手段がなく、買い物に行けないお年寄りがいる。ボランティアが協力するにも限度がある。

・冬期間など長期で家を空けるときは、隣近所へ声をかけてほしい。（見守る側として心配になるため）

〈こんな町内になってほしい〉

・移動スーパーが町内に来たり、町のスーパーまでの送迎バスがあってほしい。

・お年寄りが共同生活できる設備が町内にあってほしい。

と き 平成27年2月11日（水）

参加者 ほのぼの交流協力員17名



と き 平成27年2月12日（木）

参加者 ほのぼの交流協力員19名



と き 平成27年2月12日（木）

参加者 ほのぼの交流協力員19名



赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました



＝実績報告＝

一 般 募 金 1,412,240 円（前年比 99%）

地域歳末たすけあい募金 1,222,082 円（前年比 98%）



今年度も皆さまから善意の募金をいただきまして誠にありがとうございました。

毎年10月1日から3か月間にわたり、募金ボランティアによる戸別訪問や企業・商店等への募金箱の設置、職場を訪問しての募金活動、各小中学校での募金の呼びかけなどたくさんの募金が寄せられました。寄せられた募金は青森県共同募金会に全額送金しており、本会で実施する事業を通じて鱒ヶ沢町に還元されています。また、地域での火災など被害を受けた世帯に対する災害見舞金としても役立てられています。

社協会費にご協力をお願いいたします

鯉ヶ沢町社会福祉協議会（社協）では毎年社協会費（1世帯1口500円）をお願いしております。会費は『笑顔あふれる住みよい福祉のまちづくり』を推進するための大切な財源となり、子どもからお年寄りまで幅広く役立てられています。ご理解とご協力をお願いいたします。



社協ホームページをリニューアルします！

社協ホームページを今春よりリニューアルします。より見やすく、多くの情報をお届けするため、ページ構成やデザイン変更をおこなっています。わかりやすいホームページとより積極的な情報発信に努めてまいりますので、ぜひご活用ください。<http://ajisyakyo.justhpbs.jp/home.html>



空き缶・ペットボトル収集状況のお知らせ(H27.1~3)

空き缶(アルミ・スチール)	1,090キログラム
ペットボトル	260キログラム
合計	1,350キログラム

鯉ヶ沢町総合保健福祉センター正面玄関横に収集所を設置し空き缶（アルミ・スチール）ペットボトルのリサイクルを行っておりますので引き続き皆さまのご協力をお願いします。



【平成26年12月16日～平成27年3月17日までにご寄付を頂いた方々です】

(敬省略・五十音順掲載)

【寄付金】鯉ヶ沢町地域婦人団体連絡協議会 K2マート 匿名

【タオル】明治安田生命労働組合

【古切手】石岡千枝 岩山キミ 工藤美保子 今テルエ 斉藤智恵子 白崎光 野呂信一
ヒロセ(株)鯉ヶ沢 (有)神建築

【プルタブ】総量 29.51 kg

鯉ヶ沢町立舞戸小学校 赤石芸能保存会 岩谷勝江 岩山幸子 兼平真衣 小浜サービス
工藤美保子 澤田鉄工所 神勢津子 白取京子 すずらん会 滝吉孝之
地域活動支援センターやすらぎ 野呂信一 長谷川茂子 長谷川大夢
浜町老人クラブうみなり会 本庄美也子 本間サツエ 本間きせ ヒロセ(株)鯉ヶ沢
松橋重次 山下キミ (有)神建築 匿名

みなさまの善意を「地域福祉社会」づくりに活かし取り組んでまいります。今後ともご協力をお願いいたします。

